

## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月2日

上場会社名 昭和産業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2004 URL <https://www.showa-sangyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新妻 一彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 松嶋 伸 TEL 03-3257-2182  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	64,343	△0.3	2,730	1.3	3,300	2.2	2,644	19.4
2019年3月期第1四半期	64,520	10.7	2,695	41.6	3,229	35.7	2,214	40.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,241百万円 (△2.1%) 2019年3月期第1四半期 2,290百万円 (△1.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	84.02	77.49
2019年3月期第1四半期	70.13	64.69

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	173,312	86,544	48.0
2019年3月期	174,711	86,211	47.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 83,148百万円 2019年3月期 82,862百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	261,000	2.0	8,800	4.2	10,000	2.2	7,000	△3.5	223.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	32,969,979株	2019年3月期	32,969,979株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,645,670株	2019年3月期	1,377,011株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	31,473,518株	2019年3月期1Q	31,577,038株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。業績予想に関する事項は添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、緩やかな回復基調で推移いたしました。米中貿易摩擦の影響等により、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社90周年を迎える2025年度のありたい姿（長期ビジョン）「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向けた1st Stage「中期経営計画17-19」も最終年度を迎え、5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③社会的課題解決への貢献」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各種施策を着実に推進してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は64,343百万円と前年同期に比べ176百万円（0.3%）の減収となりました。営業利益は2,730百万円と前年同期に比べ34百万円（1.3%）の増益、経常利益は3,300百万円と前年同期に比べ70百万円（2.2%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,644百万円と前年同期に比べ429百万円（19.4%）の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## &lt;製粉事業&gt;

製粉事業につきましては、引き続きマーケット分析力を生かした提案型営業の更なる強化を行ってまいりました。業務用小麦粉の販売数量につきましては、日本麺用小麦粉を中心に拡販を行ったことにより、前年同期を上回りました。業務用プレミックス（加工用プレミックス）の販売数量につきましては、前年同期並みとなりました。ふすまの販売数量につきましては、前年同期を上回りました。販売価格につきましては、輸入小麦の政府売渡価格が本年4月に平均1.7%（税込価格）引き下げられたことを受け、7月に小麦粉製品の価格改定を実施しております。

これらの結果、製粉事業の売上高は20,964百万円と前年同期に比べ241百万円（1.2%）の増収、営業利益は956百万円と前年同期に比べ20百万円（2.2%）の増益となりました。

## &lt;油脂食品事業&gt;

油脂食品事業につきましては、業務用では、油脂と食材（ミックス・パスタ）のシナジー効果を生かし、引き続き課題解決型の営業活動を強化してまいりました。業務用油脂の販売数量につきましては、生産、物流に係るコストが上昇する中、価格改定を優先したことにより、前年同期を下回りました。業務用食材の販売数量につきましても、前年同期を下回りました。

家庭用では、他部門と連携した組織営業の推進に努めてまいりました。家庭用食用油の販売数量につきましては、注力しているオリーブオイルが大きく伸長した結果、前年同期を上回りました。家庭用プレミックスの販売数量につきましては、お好み焼粉類、ホットケーキ類が伸長し、本年春発売の新製品の配荷が順調に進んでいることから、前年同期を上回りました。

油脂全体につきましては、搾油環境が悪化する中、販売管理の徹底に努めてまいりましたが、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

これらの結果、油脂食品事業の売上高は20,024百万円と前年同期に比べ397百万円（1.9%）の減収、営業利益は1,001百万円と前年同期に比べ262百万円（20.8%）の減益となりました。

#### <糖質事業>

糖質事業につきましては、当社子会社である数島スターチ株式会社との連携を図り、また低分解水あめ、粉あめなどに代表される独自商品群の提案に努めてまいりましたが、糖化品の販売数量につきましては、天候不順等により飲料用途を中心に、前年同期を下回りました。コーンスターチの販売数量につきましては、食品用途、工業用途ともに、前年同期を上回りました。加工でん粉の販売数量につきましては、糖化品と同様に天候不順の影響から食品用途の販売が落ち込んだことから、前年同期を下回りました。以上の結果、全体の販売数量としては前年同期を上回りました。

引き続き厳しい市況の中、価格改定に努めた結果、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

これらの結果、糖質事業の売上高は9,267百万円と前年同期に比べ310百万円(3.5%)の増収、営業利益は483百万円と前年同期に比べ212百万円(78.6%)の増益となりました。

#### <飼料事業>

飼料事業につきましては、鶏卵を中心とした畜産物の販売支援による生産者との取り組みと、高利益商材の販売強化を方針として、営業活動に努めてまいりました。配合飼料の販売数量につきましては、前年同期を下回りましたが、鶏卵の販売数量につきましては、前年同期を上回りました。配合飼料の販売価格につきましては、前年同期並みとなりました。一方で鶏卵の販売価格につきましては、鶏卵相場の影響により前年同期を下回りました。仕入れ価格の低下と販売数量の増加により鶏卵の利益は前年同期を上回りました。販売数量の拡大とコストの低減により、飼料事業全体の営業利益も前年同期を上回りました。

これらの結果、飼料事業の売上高は12,763百万円と前年同期に比べ351百万円(2.7%)の減収、営業利益は163百万円と前年同期に比べ36百万円(28.7%)の増益となりました。

#### <倉庫事業>

倉庫事業につきましては、貨物獲得競争が激化する中、商社や主要顧客との取り組みを強化し荷役量の増加に努めたことにより、売上高は前年同期並みとなりました。

これらの結果、倉庫事業の売上高は746百万円と前年同期に比べ3百万円(0.4%)の減収、営業利益は193百万円と前年同期に比べ9百万円(4.8%)の減益となりました。

#### <不動産事業>

不動産事業につきましては、所有物件の資産価値向上、リーシングによる売上拡大を図ってまいりました。オフィス用賃貸ビル並びに商業用土地建物の賃料収入は、前期に獲得した新規テナント賃料収入により、前年同期を上回りました。

これらの結果、不動産事業の売上高は515百万円と前年同期に比べ16百万円(3.3%)の増収、営業利益は307百万円と前年同期に比べ30百万円(11.0%)の増益となりました。

#### <その他>

保険代理業、自動車等リース業、運輸業等をあわせたその他事業の売上高は62百万円と前年同期に比べ7百万円(12.6%)の増収、営業利益は18百万円と前年同期に比べ11百万円(163.4%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、173,312百万円と前連結会計年度末と比較して1,399百万円減少しております。主な減少要因は、現金及び預金が2,755百万円減少したこと、投資有価証券が672百万円減少したことであり、一方、主な増加要因は、棚卸資産が2,185百万円増加したことであり、

負債は、86,767百万円と前連結会計年度末と比較して1,733百万円減少しております。主な減少要因は、設備関係債務が1,133百万円減少したこと、未払法人税等が1,113百万円減少したこと、賞与引当金が747百万円減少したことであり、一方、主な増加要因は、買掛債務が1,058百万円増加したことであり、

純資産は、86,544百万円と前連結会計年度末と比較して333百万円増加しております。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,644百万円の計上による増加であり、一方、主な減少要因は、配当金の支払による1,105百万円の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降も為替や穀物の相場動向など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、2019年5月9日に公表した2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想につきまして変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,539	3,783
受取手形及び売掛金	40,432	40,280
商品及び製品	9,352	9,911
仕掛品	966	1,135
原材料及び貯蔵品	17,099	18,557
その他	2,160	2,675
貸倒引当金	△59	△58
流動資産合計	76,491	76,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,248	29,959
機械装置及び運搬具(純額)	20,101	19,616
土地	17,702	18,123
その他(純額)	2,895	2,870
有形固定資産合計	70,947	70,570
無形固定資産		
その他	1,639	1,539
無形固定資産合計	1,639	1,539
投資その他の資産		
投資有価証券	22,546	21,873
その他	3,198	3,159
貸倒引当金	△110	△116
投資その他の資産合計	25,633	24,917
固定資産合計	98,220	97,027
資産合計	174,711	173,312
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,511	24,569
短期借入金	16,390	17,010
未払法人税等	1,827	714
賞与引当金	1,410	662
その他	17,085	15,344
流動負債合計	60,224	58,301
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,990	7,990
長期借入金	6,000	6,180
役員退職慰労引当金	50	46
退職給付に係る負債	8,071	7,990
その他	6,163	6,259
固定負債合計	28,276	28,466
負債合計	88,500	86,767

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,778	12,778
資本剰余金	5,030	5,031
利益剰余金	62,285	63,824
自己株式	△2,506	△3,305
株主資本合計	77,588	78,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,315	5,864
繰延ヘッジ損益	7	△38
退職給付に係る調整累計額	△1,048	△1,005
その他の包括利益累計額合計	5,274	4,820
非支配株主持分	3,348	3,395
純資産合計	86,211	86,544
負債純資産合計	174,711	173,312



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	64,520	64,343
売上原価	52,362	52,113
売上総利益	12,158	12,230
販売費及び一般管理費	9,462	9,500
営業利益	2,695	2,730
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	223	218
為替差益	6	54
持分法による投資利益	141	121
その他	226	240
営業外収益合計	598	635
営業外費用		
支払利息	42	43
その他	21	22
営業外費用合計	64	65
経常利益	3,229	3,300
特別利益		
固定資産売却益	0	407
特別利益合計	0	407
特別損失		
固定資産廃棄損	49	35
固定資産売却損	6	—
その他	0	6
特別損失合計	56	41
税金等調整前四半期純利益	3,173	3,666
法人税、住民税及び事業税	673	702
法人税等調整額	198	283
法人税等合計	872	985
四半期純利益	2,301	2,680
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,214	2,644

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,301	2,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136	△425
繰延ヘッジ損益	51	△47
退職給付に係る調整額	62	42
持分法適用会社に対する持分相当額	11	△9
その他の包括利益合計	△10	△439
四半期包括利益	2,290	2,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,224	2,190
非支配株主に係る四半期包括利益	65	50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						
	製粉事業	油脂食品 事業	糖質事業	飼料事業	倉庫事業	不動産 事業	計
売上高							
外部顧客への売上高	20,722	20,422	8,956	13,114	749	499	64,465
セグメント間の内部売上高又は振替高	98	614	396	0	353	56	1,519
計	20,821	21,036	9,353	13,115	1,103	555	65,984
セグメント利益	936	1,264	270	126	202	276	3,078

(単位:百万円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	55	64,520	—	64,520
セグメント間の内部売上高又は振替高	363	1,883	△1,883	—
計	419	66,403	△1,883	64,520
セグメント利益	6	3,085	△389	2,695

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、自動車等リース業、運輸業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△389百万円には、セグメント間取引消去0百万円、全社費用△390百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない企業集団の広告に要した費用、基礎的研究開発費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						
	製粉事業	油脂食品 事業	糖質事業	飼料事業	倉庫事業	不動産 事業	計
売上高							
外部顧客への売上高	20,964	20,024	9,267	12,763	746	515	64,281
セグメント間の内部売 上高又は振替高	94	594	395	0	354	48	1,489
計	21,058	20,619	9,662	12,764	1,100	564	65,771
セグメント利益	956	1,001	483	163	193	307	3,106

(単位:百万円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	62	64,343	—	64,343
セグメント間の内部売 上高又は振替高	362	1,852	△1,852	—
計	424	66,196	△1,852	64,343
セグメント利益	18	3,124	△394	2,730

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業、自動車等リース業、運輸業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△394百万円には、セグメント間取引消去0百万円、全社費用△394百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない企業集団の広告に要した費用、基礎的研究開発費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。